

熊本地震にあたり

高山市長 **國島 芳明**



「自助」が基本ですが、隣近所で助け合い、支えが必要な方をみんなで助け合う「共助」、そして国や県、市などの対策・対応の「公助」が不可欠です。



ハザードマップは町内会を通じてお配りしましたが、お持ちでない方は危機管理室(本庁4階)や各支所でお渡します。

これらの自然災害を防ぐことはできませんが、災害による被害を最小限にとどめる、いわゆる「減災」は十分可能です。

減災には、市民の皆様一人ひとりの日ごろからの備え、つまり災害から身を守るために自分の命を自分で守る「自助」が基本ですが、隣近所で助け合い、支えが必

さて、熊本地震の原因として活断層が指摘されています。私たちの住む高山市も「高山・大原断層帯」などの活断層があるほか、焼岳や御嶽山などの火山噴火の恐れ、あるいは山々に囲まれた急峻な地形であるための豪雨による土砂災害など、多くの自然災害が考えられる地域です。

このたびの熊本地震にあたり、お亡くなりになられた方々に深甚なる哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの方々に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を願わずにはいられません。市としても被災地の支援に積極的に取り組んでまいります。

まず自助ですが、ご自宅の家具が、ご自宅の家具

さて、東日本大震災の折も申し上げましたが、市民の皆様におかれましては被災地への思いやりの気持ちを大切にしていただき、この地域から元気を発信してください。人も経済も活気を出してこそ、復興を支えていけるものとの思いからです。

最後に公助です。市では、災害情報の確実な伝達や備蓄品の確保、あるいは他の自治体や事業所などとの連携による支援の確保など、さまざまな対策を講じることによって、市民の皆様が安全で安心して暮らせる環境づくりに日々取り組んでいます。

や家電の固定、非常用持出品の準備、そして、災害が起きる前に家族で避難経路や身の回りの危険箇所を確認し合ってください。その行動の一助となるのがハザードマップです。ぜひこの機会にご家族で読み直してください。

次に共助です。阪神・淡路大震災や東日本大震災ではこの共助が大きな役割を果たしました。みんなで声を掛け合って逃げ遅れを防いだり、助けが必要な方々をみんなで助け合う気持ちや行動が大切です。その行動の核となるのがお住いの町内会で組織されている自主防災組織です。訓練がある際は積極的に参加し、初期消火の方法や避難困難者の誘導などを体験してください。

■耐震診断・耐震補強に対する各種助成事業

市では、耐震診断や耐震補強に対する各種助成制度を設けています。

- ▷ 木造戸建て住宅の無料耐震診断
- ▷ 耐震診断料への助成(木造共同住宅等・建築物)
- ▷ 耐震補強工事費への助成
- ▷ 伝統構法木造建築物の耐震診断・耐震補強工事への助成

※各種助成事業について詳しくはお気軽にご相談ください。

問合先 都市整備課 ☎35-3159

■義援金を受付中です

被災された方へお届けする義援金を受け付けています。

義援金名 平成28年熊本地震災害義援金
受付期間 6月30日(木)まで
受付場所 市役所本庁、各支所などの窓口にある募金箱
※直接募金を希望される方は日本赤十字社熊本県支部(肥後銀行三郎支店(普)591893(名義)日本赤十字社熊本県支部支部長 かばしまいくお 蒲島郁夫)

問合先 福祉課 ☎35-3356